

大阪歴史博物館 特集展示
「^{えが}描かれた人たち - ^{そんすう}尊崇・^{しょうけい}憧憬・追憶 -」
を開催します



大阪歴史博物館では、令和6年1月10日(水)から3月4日(月)まで、8階特集展示室において、特集展示「描かれた人たち-尊崇・憧憬・追憶-」を開催します。

古来、人は人を絵に描いてきました。憧れの人として、懐かしい人として、時には人を超越した神として。人は必ずこの世を去りますが、描かれた人は永遠の命を手にして生き続けるのです。本展覧会では、大阪歴史博物館の収蔵品から選りすぐった“描かれた人たち”が大集合します。

たとえば、歌人として活躍した柿本人麿^{かきのもとひとまる}は後世には歌の神とされて祀られ、多くの画像が描かれました。また戦国時代に立身出世を遂げた豊臣秀吉^{まつ}は、没後に神として祀られることを望み、その肖像画も神を思わせる威厳のある姿に描かれた作品があります。茶人の千利休、浄瑠璃作者の近松門左衛門ら芸道や文化に優れた人々への憧れを思わせる肖像画、その他、自身の記念として描かれた画像も残されています。

この機会に、歴史上著名な人物から一般の人々まで、“描かれた人たち”との時空を越えた、言葉なき対話をぜひ楽しんで下さい。

※本展覧会は JSPS 科研費 20K20676 の助成を受けています。

主な展示資料



かきのもとひとまる

柿本人麿像(部分)

室町時代～江戸時代(16～17世紀) 大阪歴史博物館蔵(前田善衛氏寄贈)

歌聖ともされる古代の歌人柿本人麿を描いています。人麿は筆と紙を手にして、歌を思案しているかのような様子です。人麿の画像を掲げ、和歌を献じて供養した儀式は人麿影供と呼ばれ、平安時代以降盛んに行われました。その儀式に掲げられた画像は、烏帽子に直衣姿で、左手に紙を、右手には筆を持った60歳くらいの老人の姿で描かれたと伝わります。本作品もその姿を継承しており、盛んに行われた人麿影供の本尊として用いられたと考えられます。

近松門左衛門像(部分)

江戸時代(18世紀) 大阪歴史博物館蔵

人形浄瑠璃や芝居の作者として名高い近松門左衛門(1653-1724)の肖像です。大坂にあった竹本座での「曾根崎心中」の興行が成功を収め、大坂に住まいを移して竹本座の専属の作者となり、それ以降「冥途の飛脚」や「心中天の網島」などの名作を残しました。本図は無背景の中に羽織袴姿でかまこまて座る近松を描いています。名高い先人を思い起こそうとする人々の想いがしのべられます。



奥村房次郎像 鎌田巖泉筆

明治時代(19世紀) 大阪歴史博物館蔵(藤井雄介氏寄贈)

明治6年(1873)にオーストリアで開催されたウィーン万国博覧会に青銅器を出品し、表彰された大阪の金工職人または金属器商の奥村房次郎を描いています。鬚を落とした姿は文明開化をしのばせますが、紋付に袴の姿は、それより前の時代も思いおこさせて対照的です。絵の上部には、房次郎が得た賞状がそのまま写し取られており、外国の博覧会で受賞した自信に満ちた姿にも見えます。この絵の作者の鎌田巖泉は大阪(坂)の人です。明治15年と17年に明治政府の肝いりで開かれた内国絵画共進会へも出品し、明治時代中頃の大阪を代表する日本画家でした。

瓢遊喜寿画像 梅陰筆

明治21年(1888) 大阪歴史博物館蔵(宮里圭子氏寄贈)

大阪(坂)の今橋築地(現在の北浜付近)にあった料理旅館の瓢箪屋の主人・三代目帯屋源兵衛こと宮里瓢遊の喜寿の姿を描いた画像です。豪商平瀬家(千種屋)から大きな瓢箪を譲られていた瓢遊は、同じく豪商鴻池家が持っていた大瓢箪との大きさ比べに挑戦しました。結果は瓢遊の勝ちとなり、鴻池家からは同家の大瓢箪が瓢遊へ譲られました。その入手も記念して本図が描かれました。画像に向かって左が鴻池家、右は平瀬家が所蔵していた大瓢箪です。



開催概要

- 【名称】 特集展示「描かれた人たち-尊崇・憧憬・追憶-」
- 【主催】 大阪歴史博物館
- 【会期】 令和6年(2024) 1月10日(水)～3月4日(月)
- 【休館日】 火曜日
- 【開館時間】 午前9時30分～午後5時 ※入館は閉館の30分前まで
- 【会場】 大阪歴史博物館 8階 特集展示室
〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32
電話 06-6946-5728 ファックス 06-6946-2662
<https://www.osakamushis.jp>
(最寄駅) Osaka Metro谷町線・中央線「谷町四丁目」駅②・⑨号出口
大阪シティバス「馬場町」バス停前
- 【観覧料】 常設展示観覧料で観覧いただけます。
大人600円(540円)、高校生・大学生400円(360円)
※()内は20名以上の団体割引料金
※中学生以下・大阪市内在住の65歳以上(要証明証提示)の方、
障がい者手帳等をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料
- 【展示資料数】 約20点

取材について

取材をご希望の場合は、事前に下記担当までご連絡ください。

(連絡先) 大阪歴史博物館 企画広報課 企画広報係

電話 06-6946-5728 ファックス 06-6946-2662